

オズ企業理念とは

(1) 人のためとは、人に良い影響を与える事です。では、良い影響とは、嬉しさや喜びや感動や驚異…の事です。

(2) 人づくりとは、自己成長の事です。では、自己成長とは・・・二つあります。

一つは、今迄に出来なかった技術や特技が出来る喜びであります。

二つ目は、今迄に知らなかった知識・教養・情報などを知る喜びであります。

そしてこの二つの喜びを持って人に与え・伝える事により、与える側と与えられる側に喜びが生まれ、互いの中に感動が生まれるのです。これによって互いの信頼関係が始まっていくのです。

(3) 家族主義とは、オズッ子達が創り上げる社風や風土ではないでしょうか。私の理想は愛情であり、ぬくもりであり、安心感など、とても抽象的にしか表現できませんが、皆さんにお任せしたいと思っています。ただ、なぜ理念にこれを入れたのかというと、以前は仲間創りでしたが、5～6年前にフツと気付いたのです。オズに集まって来る子達は両親が揃っていない子の比率が3～4割り近くあったのです。

この子達は家族や両親というものをどのように感じているのだろうか？

では、オズという会社組織の中に家族というものを創り上げられないものか。そしてその風土を皆で形成させ、共有できないかと思い、理念に入れ、文字にし、日々唱和する事で何年掛かるか解らないが、オズ特有の家族風土が出来上がるのではないかと・・・。

最近感じるのですが、少しずつ芽生えてきた様に思います。ある幹部がこんな事を言ってくれました。「自分が教え、伝えたこの子達が自分の影響を少しでも受けたのであれば私はこの子達の成長を自立する迄見届けなければならないのです。」と・・・。

これはまさしく親の真意ではないでしょうか。私は嬉しくてなりませんでした。

そして、

★心の汗とは、涙の事です。涙には、悔し涙・嬉し涙・悲し涙など、人間が本来持つ本質的に変革するきっかけになる時に流れるものです。人は涙の数だけ成長すると云われています。

★流すとは、もちろん努力する事です。

★皆に幸福を与えるとは、全ての人に良い影響（喜び・感動・幸福感）です。

★続けるとは、習慣づける事です。人は頂ければお返しをするのを本能として持ち合わせています。先ず与える側になる事が、必ず大きくなって返って来るものです。その度合いがその人の人生を決めるのです。「心・身・共に豊で幸福に」とよく云われます。なぜ理念が必要なのか、それは考え方を変える事が自己変革であるからです。人は誰でも本音とたてまえ（善と悪）の二つの心を持っています。神様が備えたのでしょう。本音と悪とは、損得・好き嫌い・ねたみ・怒り・わがままなどの事です。

たてまえと善とは、先程の理念の事です。

人とは常々にその時の状況や誘惑によってこの二つの心に揺れ動いています。私も今になってようやく解りだしました。前者の方で生きていた頃はいつも張り詰めたストレスも多かったです。それは自己本意だった為、不満や愚痴が絶えなかったからです。常に人を警戒し、構えて自分を有利にもっていく事ばかり考えていたからでしょうね。しかし理念が入り込み、実践していくと、すごく楽に生きれる様になってきました。何か問題が発生しても理念に照らし合わせて相手と話し合いをすれば、すぐに決着がつかますが、自己主張し合う者同士では、いつまで経っても平行線ですよね。考え方とは、善で考え生きる。我を理念に変える事。すなわち自己変革であります。考え方を一致する事でその組織と人々は社会に認められ、成長し筒ける事になっています。いつの時代も伸びている組織には全員に企業理念が根付いています。

オズ憲章 キーワードⅢ

I：素敵スタイルは、キレイな髪質から

II：お客様を年中キレイにしたい

III：女性は髪からもっとキレイになれる

これらは皆様方に説明しないでも理解して頂けますよね。これは美容師と云う職業人としての考え方です。まさしく憲法のようなものであり、美容師である為の使命・天命・宿命と心に深く刻む事です。その証として一人前のスタイリストとして必ず達成して頂きたいのは、月間指名売上100万円です。これはオズのスタイリストとしてお客様やオズの皆から認められる基準ではないでしょうか。それをやる為にどんな汗をどれだけ流すのか。成長にもありましたが、出来る喜びと知る喜びを持つ人間性でもある。人好きで、親切で、やさしい心を持ち合わせる度合いではないでしょうか。たまに先輩や後輩の小言をこぼす人がいますが、お手本を示せば周りの態度も変わってくるかも知れませんね。そして心の汗を流した量だけの価値あるスタイリストとしてのプライドをオズの皆に見せて欲しいと願っています。

そして一人前として、自立し、オズと自分の歴史に刻み込んでいくのです。自立とは、他の力を借りずに自主的に自力で生き抜いていく事であり、何者にも左右されず、確固たる信念と独自性を持ち、思いやりにあふれ、全てを限りなく認められる包容力にあふれる事です。そんな家族達を育て上げるのが育父の使命です。

育 父